

復興支援道路 みやぎ県北高速幹線道路事業だより

第8号 平成29年7月5日発行

7月に入り、梅雨に突入しました。県北道路は「土仕事」が大半なため、雨による工程への影響が非常に大きく、現場管理が大変な時期となっています。

各現場の代理人さんも常に、一週間の天気予報を把握しており、工事に遅れが生じないよう日々、がんばっています。

今月号は、先月に引き続き、「現場で働く人達の紹介」の他、「県北道路に架かる橋」の紹介をします。

現場で働く人達の御紹介

ライブディック(株) 岸 哲也さん

今月号の、みやぎ県北道路の「現場で働く人達」は中田工区の(仮)中田IC橋を工事している中田工区の安全協議会副会長ライブディック(株)施工技術部課長・岸哲也さんです!!
現場のやりがいや、大変さ、県北道路に懸ける思いを聞きました!!



現場作業を打ち合わせ中。左が岸さん。



- 氏名 岸 哲也
- 年齢 41歳
- 趣味 1歳になった息子の育児・フットサル

■：県北道路に懸ける思い

幹線道路は、物流の基盤であり、災害時には避難経路や救援物資の運搬路にもなり、重要な役割を担っています。本工事では、インターチェンジ周辺の工事に携わることができ、重い責任と誇りを感じています。安全かつ迅速に工事を進め、一日も早く完成できるよう努めて参ります。

■：現場のやりがい・大変さ

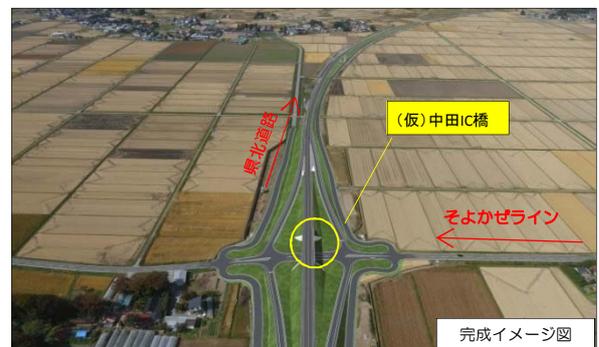
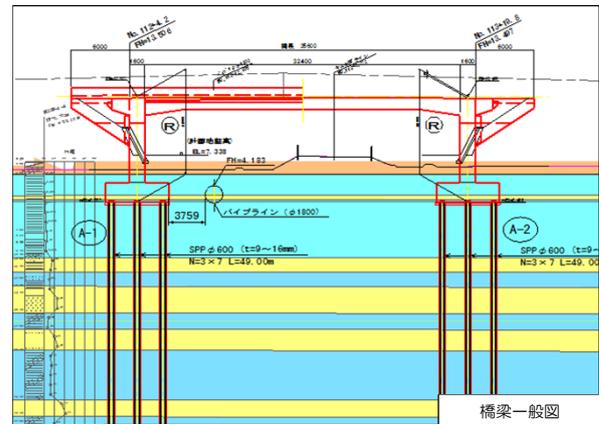
私が建設業を選んだ理由は「地図に残る仕事がしたかった」と「小さい時から工作が好きだった」からです。生活基盤・復興基盤となる工事で、インターチェンジの施工に携われていることにやりがいを感じます。重要構造物を施工する責任や隣接工区との連携・調整等の変なさはありますが、完成した時の充実感は格別です。「綺麗になった」「便利になった」と言っただけのように頑張っています。

■：現場からのメッセージ!!

工事に際しましては、迂回路での通行等、日頃より御理解・御協力を頂き、感謝申し上げます。当社の社名は「LIFE BASE DEVELOPMENT CONSTRUCTION(生活基盤を開発・建設する会社)」の頭文字から「ライブディック」と名付けられました。その名の通り、皆様の生活基盤となる県北道路の早期完成を目指して、安全かつ迅速に工事を進めて参りますので、今後とも御協力のほどよろしくお願い致します。

県北道路に架かる橋

今月から新たに県北道路（中田・佐沼工区）に架かる橋梁を紹介をします。
 県北道路（Ⅱ、Ⅲ期）には、中田工区に1基、佐沼工区に4基、計5基の橋梁を設置します。
 今月号で紹介する橋梁は、表面の「現場で働く人達」で紹介している「（仮）中田IC橋」です。



【名称】 （仮）中田IC橋

【交差するもの】 そよかぜライン

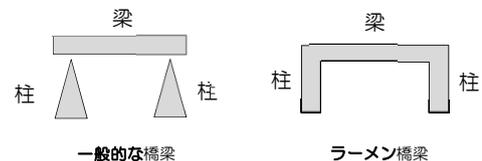
橋長	35.6m
幅員	8.5m (1.0+3.25+3.25+1.0)
上部工形式	PCポータルラーメン中空床版橋
下部工形式	逆T式橋台
基礎工形式	鋼管杭基礎φ600

【橋の特徴】 （仮）中田IC橋は、中田工区の中に位置するインターチェンジに架かる橋です。
 県北道路とそよかぜラインを立体交差する重要な橋梁となります。
 橋梁は一般的に「上部工」、「下部工」と形式が分かれています。この橋はラーメン橋となっており、上下部一体型のコンクリート橋となります。
 また、周辺地形は田圃地となっており、軟弱地盤となっていることから、橋の高さの約3倍の杭が打ち込んであり、堅固な地盤に支持しています。

土木豆知識

ラーメン構造とは、下部（柱）と上部（梁）が一体化構造となっているものです。

そのため、一般的な橋梁は地震時に揺られることにより、下部工間が広がり上部工と段差が生じる事がありますが、ラーメン構造の場合は、梁と柱が一体に揺れるため、段差が生じにくい等の特徴があります。



宮城県東部土木事務所登米地域事務所 道路建設第二班

〒987-0511

宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

電話：0220-22-5115

E-mail：et-tmdbkk2@pref.miyagi.jp

